

宝グループ健康保険組合 第3期データヘルス計画（2024～2029年度）の概要

	主な健康課題		対策の方向性	優先課題
1	特定保健指導の実施率は年々上昇しているが、全健康保険組合計の水準には届いておらず、経年で見たい対象者割合にも変化がない。	⇒	特定健康診査から特定保健指導までの流れについて、事業所との連携体制や委託業者との取り組み方法を継続的に見直し、実施しやすい体制の整備を進める。	
2	悪性新生物（がん）が増加していて、特に乳がんの増加が目立つ。	⇒	人間ドック、配偶者健診、がん郵送検診を継続しながら、被保険者向けの乳がん検診を導入する。	○
3	生活習慣病にかかる医療費や有病者数割合が全健康保険組合計と比較して全体的に高く、特に糖尿病と高血圧症が高い。	⇒	重症化予防を、より効果の高い内容にリニューアルする。	○
4	消化器系の疾患の医療費が最も高く、その約7割を歯科が占めている。	⇒	歯周病リスク検診とWeb歯科問診・Web歯科面談の利用をさらに促進しながら、必要に応じて新たな対策の導入も検討する。	



保健事業の実施計画

事業全体の目的	保健事業一覧	
<ul style="list-style-type: none"> 既存のがん検診の継続に加えて、乳がん検診を強化することで、早期発見と早期治療を推進する。 生活習慣病の高リスク者の抽出と参加勧奨を強化することで、重症化の予防を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 機関誌発行 ウェブサイト運営 医療費通知 柔道整復師等の受診適正化 特定健診（被保険者） 特定健診（被扶養者） 特定保健指導 育児支援 ジェネリック医薬品の利用促進 健康相談 Web歯科問診・Web歯科面談 	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドック 配偶者健診 がん郵送検診 乳がん検診 重症化予防 生活習慣病セルフチェック メンタルヘルス支援 歯周病リスク検診 常備薬斡旋 ウォーキングキャンペーン 前期高齢者訪問指導
事業全体の目標		
<ul style="list-style-type: none"> 乳がん検診の範囲を被保険者に広げることで、既存のがん検診とあわせて、有病者の早期発見と早期治療につなげ、罹患者及び医療費の抑制を図る。 生活習慣病のリスクに応じた保健指導により、高リスク者のリスク低減を図る。 		